

「第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 の改訂に向けた今後の進め方について

地方創生の動向

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すため、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定した。

本市においても、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえ、「第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂する。

－ 国 －

－ 桐生市 －

- R1.12 **第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定**
2024年度までの地方創生の方向性を提示
- 新型コロナウイルス感染症の発生**
- 感染拡大を受けた国民の意識・行動変容**
- R2.12 **第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」改訂**
時代の変化を捉えた新しい地方創生の実現に向けた今後の方向性を提示
- R4.6 **「デジタル田園都市国家構想基本方針」策定**
- R4.12 **「デジタル田園都市国家構想総合戦略」策定**
「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けた今後の方向性を提示

- R2.3 **「第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定**
2024年度までの地方創生のための方向性を提示

**人口減少克服
桐生ならではの地方創生
に向けた取組を推進**

地方自治体は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂するよう努める。

- R6.3 **「（仮称）桐生市デジタル田園都市構想総合戦略」策定（予定）**

デジタル田園都市国家構想総合戦略の全体像

総合戦略の基本的考え方

- ▶ デレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、**社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。**
- ▶ **東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。**
- ▶ デジタル技術の活用は、その**実証の段階から実装の段階に着実に移行**しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、**各地域の優良事例の横展開を加速化**。
- ▶ **これまでの地方創生の取組も、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要。**

＜総合戦略のポイント＞

- まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、**2023年度から2027年度までの5か年の新たな総合戦略**を策定。デジタル田園都市国家構想基本方針で定めた取組の方向性に沿って、**各府省庁の施策の充実・具体化**を図るとともに、**KPIとロードマップ（工程表）**を位置付け。
- 地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、**地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂。地域ビジョン実現に向け、国は政府一丸となって総合的・効果的に支援する観点から、必要な施策間の連携をこれまで以上に強化するとともに、同様の社会課題を抱える複数の地方公共団体が連携して、効果的かつ効率的に課題解決に取り組むことができるよう、デジタルの力も活用した地域間連携の在り方や推進策を提示。**

施策の方向

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

- 1 地方に仕事をつくる**
スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等
- 2 人の流れをつくる**
「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり 等
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等
- 4 魅力的な地域をつくる**
教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等



地方のデジタル実装をトータルで支える

デジタル実装の基礎条件整備

デジタル実装の前提となる取組を国が強力に推進

- 1 デジタル基盤の整備**
デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大、データ連携基盤の構築（デジタル社会実装基盤全国総合整備計画の策定等）、ICTの活用による持続可能性と利便性の高い公共交通ネットワークの整備、エネルギーインフラのデジタル化 等
- 2 デジタル人材の育成・確保**
デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保 等
- 3 誰一人取り残されないための取組**
デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事情等に基づくデジタルデバイドの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立 等



地域ビジョンの実現に向けた施策間連携・地域間連携の推進

＜モデル地域ビジョンの例＞

<ul style="list-style-type: none"> ■ スマートシティスーパーシティ スマートシティAICT（横濱県津島市） ■ SDGs未来都市 地域交通システムやコミュニケーションロボットの活用（高知県石巻市） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「デジ活」中山間地域 若い世代の減少に対応した自動草刈機の導入 ■ 産学官協創都市 データを活用したスマート農業の取組（高知県・高知大学）
--	--

＜重要施策分野の例＞

<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域交通のり・デザイン 自動運転バス（ス）の運行（茨城県鹿嶋市） ■ 遠隔医療 医療機器設備の移動給電車（長野県伊豆市） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ こども政策 保健師等とのオンライン相談（山梨県富士吉田市） ■ 教育DX オンラインによる遠隔合同授業（鹿児島県三島市） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域防災力の向上 観光アプリを活用した避難経路・人流分散（東京都京都市） ■ 観光DX 観光アプリを活用した避難経路・人流分散（東京都京都市）
---	---	--

地域ビジョン実現を後押し

＜施策間連携の例＞

関連施策の取りまとめ	重点支援	優良事例の横展開	伴走型支援
✓ 関係府省庁の施策を取りまとめ、地方にわかりやすい形で提示	✓ モデルとなる地域を選定し、選定地域の評価・支援	✓ 他地域のモデルとなる優良事例の周知・共有、横展開	✓ ワンストップ型相談体制の構築や地方支分部局の活用等による伴走型支援

＜地域間連携の例＞

デジタルを活用した取組の深化	重点支援	優良事例の横展開
✓ 自治体間連携の枠組みにおけるデジタル活用の取組を促進	✓ 国が事業の採択や地域の選定等を行う際に、地域間連携を行う取組を評価・支援	✓ 地域間連携の優良事例を収集し、メニューブック等を通じて広く周知・共有

総合戦略の改訂に向けた考え方

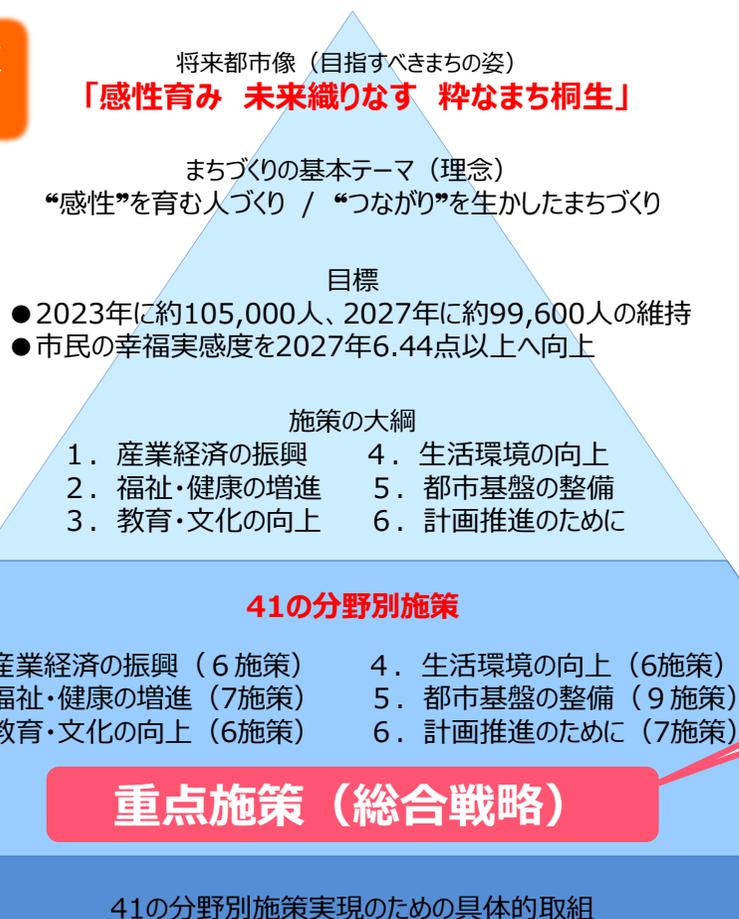
1 計画期間

令和6（2024年度）～令和9（2027）年度

2 策定の考え方

○引き続き本市のまちづくりの指針となる最上位計画である「桐生市第六次総合計画後期基本計画」（計画期間：令和6（2024）年度から令和9（2027）年度）の「重点施策（総合戦略）」として位置づけ、両計画を一体的に策定する。

桐生市第六次 総合計画



基本構想

総合戦略

人口減少及び地方創生を目的とする総合戦略に掲げる施策について、基本計画における41の分野別施策のうち、「**重点施策（総合戦略）**」として位置付けている。

基本計画

前期：R2～5年度
後期：R6～9年度

実施計画

総合戦略の改訂に向けた考え方

基本目標 1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する

施策の方向性	施策
(1)しごと環境の創出	1. 計画的な工業団地の整備
	2. 企業誘致活動の推進
	3. 雇用の確保と安定化
	4. 創業・事業承継の促進
	5. 魅力ある商店づくり
(2)地域産業の活性化	1. 市内企業の成長支援
	2. 商品開発・販路開拓の支援
(3)農林業の活性化	1. 農業の担い手の育成・確保
	2. 魅力的な農産物の生産振興と販売力の強化
	3. 林業後継者の育成
	4. 林業振興と林業生産基盤の整備

基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる

施策の方向性	施策
(1)結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の充実	1. 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援
(2)安心して子育てができる環境整備	1. 子育て支援サービスの充実
	2. 青少年保護活動の充実
(3)特色ある教育の充実	1. 桐生ならではの特色ある教育の充実
	2. 学校・地域との連携の推進
(4)教育研究・相談機能の充実	1. 教育研究・研修の充実
	2. 教育相談の充実

- 改訂版総合戦略は、引き続き総合計画後期基本計画において最重要課題とする人口減少問題に対応するための施策・事業を中心にまとめるものであり、**人口減少克服・桐生ならではの地方創生を目指す現総合戦略と基本的な方向性は変わらない。**

このため、基本目標をはじめとする施策の体系及びK P Iについては、現総合戦略を基に桐生市総合戦略推進委員会からの意見や一体的に策定する総合計画後期基本計画との整合性に留意しながら、適宜見直しを図るとともに、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の趣旨を踏まえ、**「デジタル化の推進」や「アフターコロナ」を踏まえた形に改訂する。**

基本目標 2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の

拡大による地域の活性化を目指す

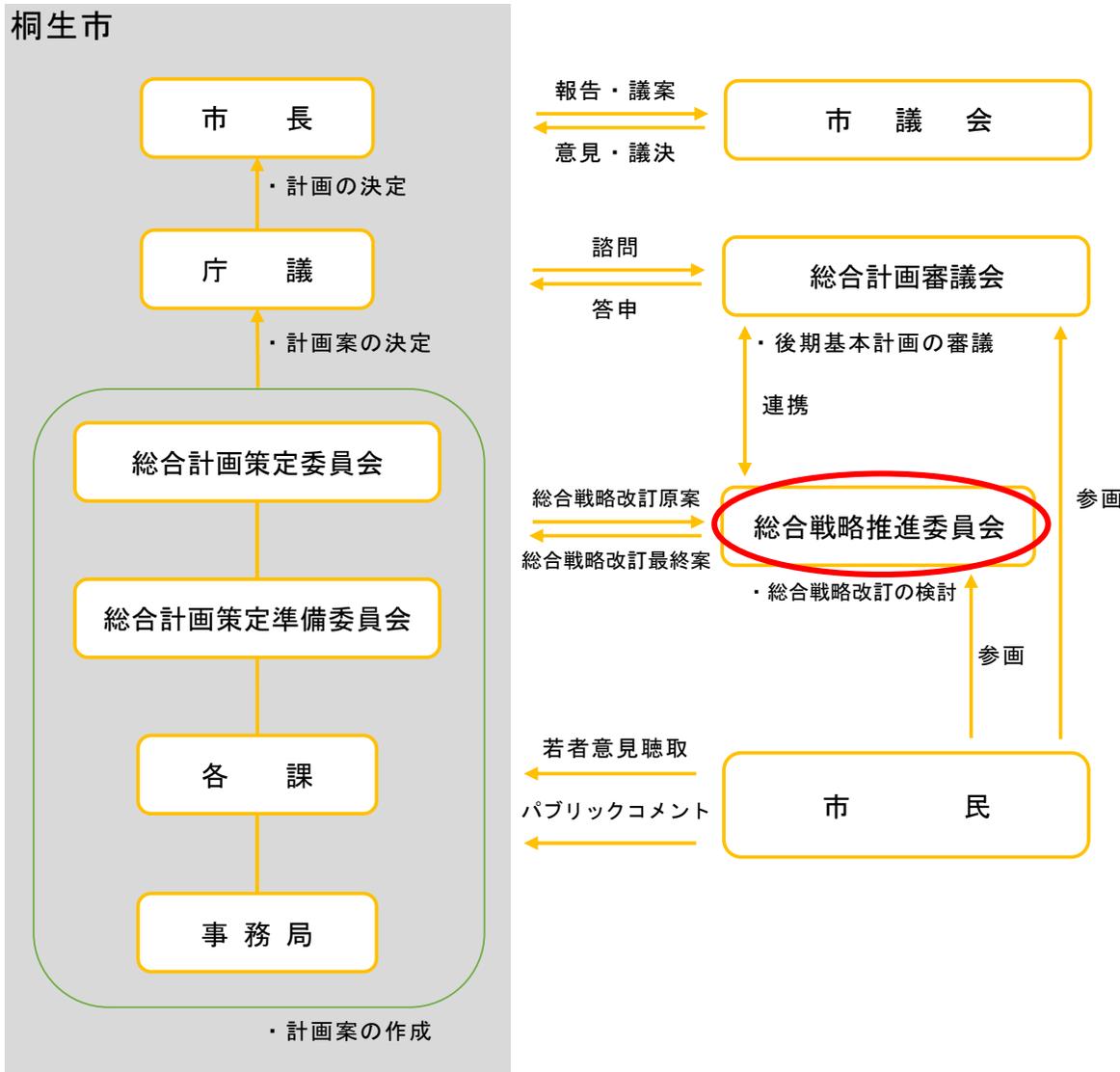
施策の方向性	施策
(1)シティブランディングの推進	1. 理念・方針等の周知啓発
	2. 推進体制の整備・活動支援
(2)移住・定住の促進	1. 移住・定住の促進
(3)観光の振興	1. 観光客誘致活動の推進
	2. 観光拠点機能の充実

基本目標 4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり

施策の方向性	施策
(1)安全・安心で住みやすい環境づくり	1. 地域防災力の向上
	2. 地域包括ケアの推進
	3. 介護予防・重度化防止の推進
	4. 生活習慣病予防の推進
	5. 生活習慣病の重症化予防
(2)将来を見据えた計画的なまちづくり	1. 持続可能な都市の形成
	2. 中心市街地活性化の推進
	3. 歴史まちづくりの整備
	4. 歴史的風致を活用したまちづくりの推進
	5. 温暖化対策の推進
	6. スポーツ施設の充実
	7. 公共施設マネジメントの運営
	8. 用途廃止後の施設の有効活用
(3)地域連携の推進と交通基盤の整備	1. 地域連携の推進
	2. 北関東自動車道へのアクセス道路の整備
	3. 幹線道路の整備
	4. 鉄道利用の促進
	5. バス交通網の充実

総合戦略の改訂に向けた考え方

3 策定体制について



(1) 庁内体制

総合計画策定委員会（部長級）を中心に、総合計画策定準備委員会（課長級）、各部・課、事務局が連携し、全庁を挙げて計画の策定に当たる。

(2) 市民参画

桐生市総合戦略推進委員会への参画、意見提出手続（パブリックコメント）の実施など、計画策定の各段階において市民参画の機会を設け、広く市民意見を聴取し、反映するよう努める。

(3) 桐生市総合計画審議会

学識経験者や公共的団体等の代表者、公募委員などから構成される桐生市総合計画審議会を設置し、計画策定について市長の諮問に基づき、答申を行う。

(4) 桐生市総合戦略推進委員会

産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア等の有識者から構成される桐生市総合戦略推進委員会において、総合戦略の改訂について検討及び協議を行う。併せて地方版総合戦略の改定について、検討及び協議を行う。

(5) 市議会

総合戦略の改訂状況について、適宜、市議会へ報告を行うとともに、桐生市議会の議決すべき事件を定める条例に基づき、議案として提出する。

総合戦略改訂の進め方

総合計画

9月～10月

12月

審議会において
答申案を作成

パブリックコメント

行政案を決定し、
議会へ議案を提出

R5第4回定例会

庁内

12月～1月

3月

総合計画策定準備委員会や総合計画策定委員会を適宜開催し、
総合戦略推進委員会からの意見等を踏まえ、
総合戦略原案を作成

パブリックコメント

行政案を決定し、
議会へ議案を提出

R6第1回定例会

総合戦略

第1回推進委員会

- R5事業の説明
- 今後の進め方

意見照会（文書）

- 総合計画重点施策（総合戦略）に対する意見照会

第2回推進委員会

- R3評価検証
- 総合戦略案の審議

第3回推進委員会

- 総合戦略案の審議（パブコメ案の決定）

7/7

10月頃

11月頃